

総合研究発表会「社会」分科会 1年次発表（H30.2.2 成育小学校、城東区民ホール）

	中単元名	授業のようす	研究発表・講演
3年	昔の道具と人びとのくらし  本時(10/12)の学習問題 「今でも使われている昔の道具にはどんなものがあるのだろう」	 	研究テーマ (1)主体的・対話的で深い学びを生み出す学びの内容とは？ (2)主体的な学びを生み出す資料とは？ (3)対話的な学びを生み出す指導法とは？ (4)深い学びにつながる評価と支援とは？ <b>成果</b> (1)「大阪らしさ」「生き方に学ぶ」教材を生かした指導計画を工夫する (2)「意欲が高まる」「考えが深まる」資料を準備する (3)「問い返す」「つないで発言する」ことにより対話を指導する (4)単元終末に「学習問題に対する考え」を書かせて評価する <b>課題</b> (1)新たな問いを生み出す資料提示や学習展開を工夫する (2)ICT 機器を活用した資料活用について研究する (3)「自分との対話」を生かした学習指導について研究する (4)単元終末の価値判断・意思決定する場面設定について研究する  
4年	WE LOVE OSAKA 地域の発展に尽くした人びと  本時(6/8)の学習問題 「粗朶沈床工とはどのようなものだったのだろう」	 	
5年	自然災害とともに生きる  本時(6/6)の学習問題 「自然とともに生きるには何が大切なのだろう」	 	
6年	憲法とわたしたちのくらし  本時(4/6)の学習問題 「先生の人生は、どのように基本的人権が尊重されているのだろう」	 	講演「新しい社会科学習の展望」  新学習指導要領改訂のキーワードは「主体的・対話的で深い学び」である。社会科におけるアクティブラーニングを生かした授業改善とは「今の自分の授業は深い学びになっているか」を自問自答する。ポイントは次のとおりである。 ・問いの意味が子どもに届いているか ・子どもが自分で調べることができるか ・振り返りを大事にしているか  